

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名:放課後等デイサービス オレンジ

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定委員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	3	2	机・椅子等を移動し使いやすいように部屋の空間を作る等をしている。指導訓練室だけではなく、外出活動を行ったり、同施設内にある使用可能な部屋を利用して、広い空間での活動ができています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3	0	活動内容を変更したり、他部署と連携し、応援を依頼したりしている。	活動内容等を工夫したり、早めに他部署との連携を密にとり必要な職員数で活動を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	毎日のミーティングを実施し、互いの意見を伝え合う環境を作っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	困り感や課題について、保護者との面談を行い自宅での様子や保護者の思いを聞き取れるようにしている。	担当者会議や送迎時に、保護者の意向を良く聞き取り、支援内容の充実を図りたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0		公表後に、職員全員に周知する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	1		外部評価を依頼する予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	0	研修案内を職員に行い、参加できるように時間の調整を実施している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	スモールステップで目標達成を心掛けて計画作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	固定されたプログラム以外にも新しいプログラムの立案も行えるようにミーティングを行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	0	複数日利用する児童については週間の中で、同じ活動が繰り返し行われないよう工夫している。	場所が限られているので、固定されてしまうこともあるが、可能な範囲で見直しを行い新しい活動も取り入れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	0	平日、長期休暇に応じて活動内容を変えるように設定している。	休日は開所していない。 長期休暇は季節にちなんだ活動や外出の計画を増やしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	集団活動を取り入れ、他者との関わりを持つ機会を設けている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	毎朝のミーティングで支援内容の確認を行なっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	0	支援終了後は退所時間にばらつきがあるため、次の日には確実に振り返りを行なうようにしている。	特に気になったことなどは書き込んで帰れるように用紙を準備している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	記録を付けやすいように様式の変更を行ってから改善されている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	適宜児童についての話し合いや伝達を職員で行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	0	少しずつ周知している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	0	学校と放デイではなく学校から保護者、放デイの流れで情報共有が多い。各学校のHPでの情報が遅く保護者宛に出されたおたよりで確認を行っている。 お迎えに行った際に様子等を細かく伺っている。	学校の送迎時などに気になることがあれば先生に確認を行なうようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	1	0	医療的ケア児に対しては医師の指示書をもってもらい指示書をもとに動いている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	0	同一法人が運営している児童発達支援センターを利用されていた方については、情報を共有している。法人外の施設との情報共有は相談員を通して行っている、担当者会議に参加し児童の相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	2	現在までに該当事例がない。事例があれば必要な情報を共有していきたい。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1		同一法人が運営している児童発達支援センターから案内があった研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	1		地域行事の参加等については今後検討していきたい。 地域の公園に出かけることで障がいのない子どもと一緒に遊ぶ、挨拶・会話等で地域の方と接する機会となっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	0	保護者との連絡帳や送迎時を用いて、保護者から児童の様子を報告していただいたり、職員からその日の事業所での様子を報告し、児童の課題等についての共通理解を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1	ペアレントトレーニングの研修を受講したり、相談員と連携して、よりの確な支援が出来るよう努めている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	0	契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	0	家庭連携を行い、必要とされる課題について相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	2		コロナ禍で実施出来ていなかったため、今後検討していき、保護者の横のつながりを作っていくたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	0	苦情相談窓口を設定している。また、苦情があった場合は現場だけで検討せず、上司に報告し、適切な対応の検討を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	0	長期休暇前にお便りを配布して活動内容を報告している。その日の児童の様子については送迎時に口頭で伝えるか、連絡ノートや写真を配り確認してもらっている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	視覚支援を徹底的に行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	2		地域学校の実習生は継続して積極的に受け入れしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	0	マニュアルの策定は行っている。	職員や保護者に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	0		定期的に行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	県が実施する虐待・権利擁護の研修へ代表者が参加し、研修内容の共有を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3	0	現在まで該当事例がなく、該当があればこのように対応する。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	0	契約時に保護者からの聞き取りを行っている。	現在はアレルギー対応児がいないため、必要性が出てきた際に対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	0	事例と改善策をPC内で管理し、同じような事例が発生しないように注意している。	